

## 審査の結果の要旨

論文名：歴史地区におけるコミュニティ保全思想の背景と意義：

シアトル市パイク・プレイス・マーケット地区の保全運動に関する研究

氏名 阿部 祐子

本論文は、米国における近隣地区保全の理念が提起された背景とその特徴を歴史的研究によって分析し、その意義を明らかにすることを目的とするものである。

全体は6章からなり、1章では、米国の歴史地区保全の歴史において、1970年代後半以降、歴史地区において近隣地区のコミュニティの保全が重要課題となる過程を概観し、その中でシアトルのパイク・プレイス・マーケット地区の保全が先導的な例であったことを確認した。

2章では、この地区において1960年代中期から1971年まで展開された保全運動の経緯を整理し、その論点が建造物の形態のみを残し再利用を図るか、あるいは機能やコミュニティを一体的に保全するか、という保全のあり方であったことを検証した。

3章では、社会史・都市史等の既存文献を基に1960年代のシアトルにおける歴史保全運動の時代的背景を検証した。

4章は、歴史地区の保全運動を先導した建築家の思想的背景として、1930年代以降のシアトルに展開された地域主義建築について、文献を基に分析を行った。教育者立場から地域主義を先導した建築家として、ライオネル・プリースがいる。プリースは1920年代後期からボザールの建築教育を展開した教師であったが、モダニズムも否定するものではなく、豊かな人間環境創出へのアプローチとして取り入れられた。このような初期の地域主義を推進した建築家の思想は、スタインブルックら次世代の地域建築家に大きな影響を与えた。

5章は、歴史保全運動のリーダーであったスタインブルックの著述・述懐等を基に、建築・都市、及び歴史保全に対する思想を分析し、パイク・プレイス・

マーケット地区における保全理念の背景と特徴を考察した。スタインブルックの建築に対する理念は、シアトルの地域主義を踏襲したものであり、モダニズムの持つ機能性・経済性・柔軟性を志向し、自然や生活形態を尊重し、人と建築との関係性を重視した。さらに、建築の地域コミュニティにおける社会的意義を重視した点が特徴的である。

6章は、上記のようなスタインブルックの思想がパイク・プレイス・マーケット地区において具現化される過程とその課題と意義を、当時の行政文書、新聞記事等を基に検証した。スタインブルックが主張した保全すべき要素は、「空間体験」「機能・活動」「人」の3つに区分される。特徴的なのは後者2要素である。「機能・活動」の保全によって、居住者回帰が促進されるなど地域コミュニティが強化される傾向が生まれ、核となる機能の保全が都市づくりにもたらす効果を示している。「人」の保全によっては、低所得コミュニティの維持と強化が達成された。

本研究は1860年代のシアトルにおける歴史保全運動の分析を通じて、地域主義建築の存在意義を示し、現代の画一的都市計画手法に対する批判的分析を達成している。以上は興味深い都市計画史研究であり、博士（工学）の学位請求論文として合格と認められる。